



## 授業参観・学級懇談会ありがとうございました

昨日は、雨にも関わらず、授業参観並びに学級懇談会へ多数参加いただき、ありがとうございました。本校では、昨年度から学校のキャラクター「帯西レンジャー」に道德の4つの視点を「4つの心」として意味付けて、道德科と特別活動を学校教育の基盤に据えた道德教育の充実に取り組んでいます。その一端を授業参観で公開できたら、という思いで、授業は道德科か学級活動に取り組んでもらいました。



OECD\*（経済協力開発機構）は、これからの時代に必要な力として、①新たな価値を創造する力 ②対立やジレンマを克服する力 ③責任ある行動をとる力の3つを設定しています。これらは、活動の目標の達成のために、方法や手段などを全員で考え、折り合いをつけながら話し合い、自分の役割や責任を果たすとともに、それを協力して実践し、学級文化を創造していく本校の道德教育の在り方と同じ方向を向いていると考えています。これらは非認知的能力とも呼ばれ、いま世界中で注目されています。本校の道德教育を通して、子供たちには、これからの時代を切り拓いて欲しいと思います。

\*ヨーロッパ諸国を中心に日・米を含め 38ヶ国の先進国が加盟する国際機関

## 地域の方の心温まるお話

「帯西伝承の日」で嬉しかったことをお伝えたくて拙筆を走らせています。混雑していた体育館で、5・6年生？の男の子が、交換クリップを失くして…とやって来ました。そこで私のを一個渡しました。しばらくして、その子が「ありました!」とわざわざ返しに来てくれました。ウロチョロしている見知らぬおばあさんをわざわざ捜して。当たり前と言ったらそうかもしれません。私たちが子育てをしていた時代より複雑化した社会の中で育つ子供たちが、大事なものをしっかりと持ち続け行動している様が、とてもありがたかったです。これも先生方や保護者の方たちの日々の積み重ねだと思いました。そして、片付けに入ってブルーシートを拭いていると、「お手伝いします。」と何人もの子供会の保護者の方が手伝ってくださいました。割り振ってあるわけでもないのに…。少し疲れていた私でしたが元気になりました。自分から動くことの大切さを改めて感じました。文字通りの「師走」皆様、公私共にご多用と存じますが、どうぞご自愛ください。

このように、子供を育てることは未来の日本を支える人材を育てるものであり、親だけではなく、社会の一人一人、みんなが主役なのです。

地域の方から封書でお手紙をいただきました。そのお手紙の内容を紹介します。

「わくわく通信33号」で書いているように、子供は家庭で育ち、学校で学び、地域で成長することを改めて実感することができました。今の人材育成は、未来の日本を支えていきます。地域全体の温かい目で、子供たちを育てていくことが、未来の日本を支える人材を育てていきます。これからも温かい目線で、子供たちを支えていただきたいと思います。お手紙ありがとうございました。

